

~これから始める~ スーパービギナー向け 射出成形金型入門

【対象者】

- ・射出成形用金型の基礎的なことを学びたいと考えている方
- ・金型メーカーの新入研修として
- ・金型業界を目指す学生の方

日時 2021年11月10日(水) 10:00~17:00 (9:30 受付開始)

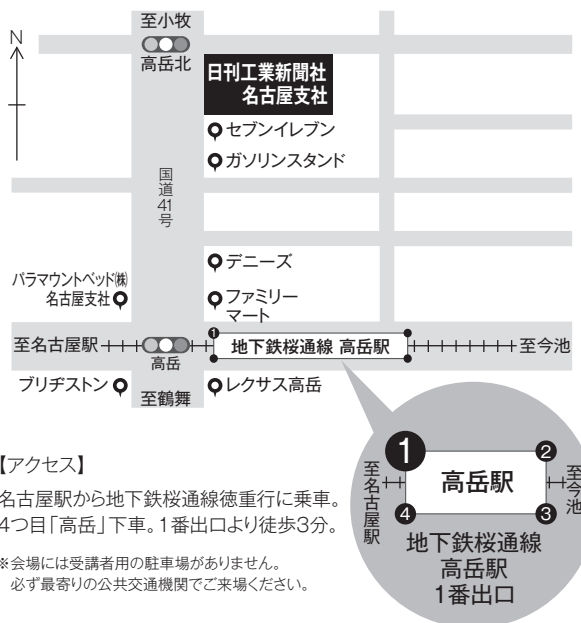
※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市中区泉2-21-28

受講料 44,000円(資料含む、消費税込)
*同時複数人数のお申し込みは2人目から39,600円

※追加申込の際は備考欄に「複数割引適用希望」とご記載ください。
(記載が無い場合は通常料金のご請求となる場合がございます。予めご了承ください)
※日本金型工業会、中部プラスチック連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。但し割引対象が重なる場合は、どちらか一つの割引を適用させていただきます。

日刊工業新聞社 名古屋支社 会場案内図



【アクセス】
名古屋駅から地下鉄桜通線徳重行に乗り、4つ目「高岳」下車。1番出口より徒歩3分。
※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。

セミナー申込を検討中の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症に伴うセミナー開催及び対応について、弊社WEBサイトにてご確認ください。
<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/view/3693>

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をご郵送いたします。
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日1週間前までに銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

申込・問合せ 日刊工業新聞社 名古屋支社 イベントG
TEL 052 (931) 6158 (直通) FAX 052 (931) 6159

受講申込書

11/10 ビギナー射出

お申し込みは
<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>

会社名	フリガナ	業種	
氏名	フリガナ	TEL	
	部署・役職	FAX	
所在地	〒	E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/> チェックしてください。
備考			<input type="checkbox"/> 日本金型工業会正会員 <input type="checkbox"/> 中部プラスチック連合会正会員

開催主旨

『射出成形金型』と聞いて、どのような言葉を思い浮かべますか?多くの方は『日本が世界に誇れる技術』といったことや、『日本のものづくりの支えてきた技術』といったことなど、良いイメージを思い浮かべることが多いのではないのでしょうか?確かに、日本の射出成形金型は優れた職人の方々の技によって培われてきた世界に誇れる技術です。しかし、その反面、今から射出成形用金型のことを知りたいと思い、勉強してみたところ、難解な専門用語が多く、非常に敷居が高いと感じられている方や、会社内で新たな金型技術者を育てようとしても、何をどう教えてよいものか上手く説明できないとお悩みの方も多いのではないのでしょうか。そこで、本講座では射出成形金型のことだけではなく、真の金型技術者を育てるために必要な3つの柱-金型・射出成形・樹脂-の基礎知識について分かり易く紹介します。射出成形用金型の基礎について学びたいと考えている方には打ってつけの内容となっております。積極的な受講をお待ちしております。

講師

株式会社アイシム 代表取締役 **天野 克久 氏**

【略歴】 1995年に金型メーカーの(株)明輝に入社。技術部に所属し、約17年にわたり樹脂流動解析の立上げ、運用に携わる。自動車、家電、日用品など幅広い分野のプラスチックの製品設計や金型の設計・製作を樹脂流動解析でサポートしてきた経験を経て、2012年に受託樹脂流動解析を中心に樹脂流動解析システムの導入や運用の相談まで樹脂流動解析に関するありとあらゆる事を専門的に行う(株)アイシムを設立。現場目線で製品設計と金型設計・製作の両方の立場を考慮した樹脂流動解析者として活動する一方、樹脂流動解析をプラスチック製品設計や金型の設計・製造の現場に広めていく活動も行っている。

プログラム

■ 金型のことだけでは真の金型技術者にはなれない!!

- ・ 金型とは何であるのかを理解する
- ・ 真の金型技術者に必要な3つの柱 ~金型・射出成形・プラスチック~

■ 金型の種類と構成

- ・ 金型の大きな種類
- ・ 金型を構成する部品について

■ 射出成形金型の作り方

[STEP1] そのまま作っても大丈夫? ~まずは製品形状をCHECKする~

- ・ 抜き勾配とパーティングラインを考える
- ・ アンダーカットの処理方法を考える
- ・ 肉厚設定を考える
- ・ 金型強度を考える
- ・ 収縮率の設定

[STEP2] 本当に成形できる?

- ・ 射出成形機の選択について考える
- ・ ゲートの形状とランナーのレイアウトを考える
- ・ 冷却管の配置を考える
- ・ 突き出し位置を考える
- ・ 成形できるかを確認する強い味方、樹脂流動解析

[STEP3] 金型の加工と完成まで

- ・ 基本は“削り”で作られる
- ・ 特殊な形状は放電加工で
- ・ 最後は人の手で!! ~仕上げ職人の技~

■ 試作成形にて製品を得る!!

- ・ 試作成形時にチェックすべき項目とは!!

■ 質疑応答